

【国際交流行事参加のご報告】

参加団体：麻生童謡をうたう会

参加行事：“INTERFOLK”

参加期間：11月7日（木）～15日（金）

開催地：サンクトペテルブルグ（ロシア）

IOV-JAPAN としては初めてのロシア行事でした。

行事は地元ロシアの団体をはじめ、約15カ国が参加した“INTERFOLK”

<麻生童謡をうたう会>は川崎市の国際派、女声合唱団体です。

寒いのではと心配しましたが、到着後数日は気温が5度～10度ほどあり、天候にも恵まれ素晴らしい芸術交流を実現することが出来ました。

サンクトペテルブルグは町全体が博物館の様なユネスコ世界遺産の町です。

見るもの全てに目を奪われました。

行事期間、毎日の様に各国各団体15分～20分ほどのステージをこなしました。

宿泊したサンクトペテルブルグホテルには立派なホールがあり、このホールを利用してメイン行事が行われました。

その他、近郊の町で地域の方々との交流を兼ねたコンサートを行い、期間中バラの学校と言う小学校から高校までの併設校を訪ねました。

この学校では日本語クラスがあり、全校で150名ほどの生徒の皆さんが、日本語を選択しているのに、団員一同驚かされました。

子供達の日本語授業も見学させて頂き、交流会では<麻生童謡をうたう会>の皆さんの演奏に惜しみない拍手を送ってくれました。

子供達とお互い心のこもったプレゼントを交歓し合い、給食も頂いて素晴らしい交流を実現することが出来ました。

“INTERFOLK”はコンクール形式で行われた行事でしたが、<麻生童謡をうたう会>の皆さんは交流主眼で、競演には参加しませんでした。

しかし、主催者の特別な計らいで、特別賞を授与して下さり団員一同、感激しました。

行事終了後は国内線でモスクワに移動し、モスクワ観光を楽しみながらリニューアル仕立てのボリショイ劇場でボリショイバレエを観覧することが出来、皆さんとても良い思い出になりました。

ロシアはビザが必要でなかなか、訪問するチャンスがありませんがお会いする全ての方々が、日本に対してとても親近感を持って下さっていることがひしひしと感じられました。やはり交流することに依って相互理解も深まり、一層お互いの理解を深めることが出来るのだと実感した交流行事でした。

団員の皆さんは再訪の願いを胸に抱きながら、ロシアをあとにしました。

文責：RYU

